

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス に じいろcolon				支援プログラム（参考様式）		作成日		令和7年	4月	1日
法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの「その子らしさ」を大切に、安心して自分を表現できる環境を整えます。										
		日々の遊びや活動、様々な体験を通して、子ども自身が考え、選び、伝え、人と関わる力を育みます。										
支援方針		子どもの発達段階や特性、本人・家族の希望を踏まえ、個別支援計画に基づいて支援します。										
		特に、日常生活や集団生活の中で必要となる「考える」「伝える」「聞く」「相手の立場を考える」といった力を、遊びやゲーム、体験活動を通して楽しみながら育てます。										
		子どもが「できないこと」だけに着目するのではなく、得意なことや興味を生かしながら、できたこと・挑戦したことを認め、自己肯定感につなげます。										
営業時間		9時		0分		18時00分		送迎実施の有無		ありなし		
		支援内容										
本人支援	健康・生活	来所後の身支度、荷物の整理、手洗い、片付け、時間の確認等を通して、生活に必要な習慣を身につけられるよう支援します。 また、自分の疲れや気分等に気づき、必要に応じて休憩を取る、職員に伝える等、自分の状態を調整する力を育てます。										
	運動・感覚	運動遊び、サーキット、身体を使ったゲーム、ストレッチ、制作活動等を通して、身体の動かし方、姿勢、バランス、手先の操作等を支援します。										
	認知・行動	間違い探し、パズル、カードゲーム、迷路、ルール遊び等を通して、観察する、比較する、考える、予測する、選択する等の力を育てます。 「どうしてそう思ったのか」「どうしたらよいか」を考える機会を設け、状況を整理し、自分で考えて行動する力につなげます。										
	言語コミュニケーション	日常会話や発表、説明ゲーム、絵本、カード等を活用し、自分の考えを相手に分かるように説明する力を育てます。 「誰が・何を・どのように・どう違う」等、具体的な視点を提示しながら説明する経験を積み重ねます。 また、相手の話を聞く、質問する、順番に話す、自分の気持ちを伝える等のコミュニケーションも支援します。										
	人間関係社会性	集団活動やゲームを通して、ルールを理解する、順番を守る、相手と協力する、勝ち負けを経験する、気持ちを切り替える等の力を育てます。 SST等を通して、相手の立場や気持ちを考え、自分の気持ちとの違いに気付くことや、困ったときに適切な方法で助けを求めることも支援します。										
家族支援		子どもの事業所での様子や成長について保護者と情報共有を行います。家庭での困りごとや子育てに関する相談を受け、必要に応じて家庭で実践しやすい対応方法を一緒に考えます。 必要に応じて学校、相談支援事業所、医療機関等と連携し、子どもに関する情報を共有します。				移行支援		進級、進学、卒業等のライフステージの変化を見据え、本人が新しい環境で安心して生活できるよう支援します。 本人の特性や得意なこと、必要な配慮等について、必要に応じて学校や関係機関と情報共有を行います。				
地域支援・地域連携		学校、相談支援事業所、医療機関、行政等と必要な連携を行います。 買い物、外出、公共施設の利用等の社会体験を取り入れ、地域社会の中で様々な人や環境に触れる経験を提供します。				職員の質の向上		職員間で日々の支援について情報共有を行い、子どもの姿や支援方法について振り返りを行います。発達障害に関する理解、虐待防止、身体拘束等の適正化、事故防止、感染症対策、リスクマネジメント、コンプライアンス、BCP等の研修を実施し、支援の質の向上を図ります。				
主な行事等		・間違い探し・観察活動・説明力・コミュニケーションゲーム・SST・絵本・読み聞かせ活動・集団ゲーム・ルール遊び・運動遊び ・制作活動・調理・食育活動・買い物等の社会体験・季節の行事・外出・戸外活動・誕生日活動・その他、子どもの興味や発達段階に応じた活動										